

I 保育所、幼稚園、こども園

- エピソード① 入園前
- エピソード② 入園式
- エピソード③ バッタの折り紙から学んだこと
- エピソード④ 運動会
- エピソード⑤ 生活発表会
- エピソード⑥ Aちゃん、また先生に叱られるよ
- エピソード⑦ 遠足の思い出
- エピソード⑧ ある研修会で
- エピソード⑨ この子が熱をだしてくれないかしら
- エピソード⑩ もっと遊びたかった
- エピソード⑪ 就学に向けて
- エピソード⑫ 卒園式
- エピソード⑬ 私は子どもが好きだから先生になったのだ

II 小学校通常学級

- エピソード① 自分の悩んだ時間を一瞬で『素敵な思い出』
に変えた
- エピソード② 保護者の現状も見極め、情報の伝え方を工夫
する
- エピソード③ 特効薬はなくとも一歩ずつ積み重ねることの
大切さ
- エピソード④ 先生たちも自信がなくどうしたらいいか毎日
悩んでいます

- エピソード⑤ 特別支援教育を実践してきた校長先生だからこそ
- エピソード⑥ その辛い気持ちを大人にまっすぐ表現してほしい
- エピソード⑦ こんなに立派に成長してくれた
- エピソード⑧ Aくんは登校することをやめました
「疲れちゃった」
- エピソード⑨ 面倒見のいい、人気の上級生
- エピソード⑩ 育児休暇を終えてのB先生の担任奮闘記
- エピソード⑪ 「わからない」「教えてほしい」と言えない子どもたちがいる
- エピソード⑫ 学びにくさのある児童にとって選択肢を増やす ICT

Ⅲ 小学校支援学級

- エピソード① 入学式
- エピソード② 子どもとの1年を考えてみる
- エピソード③ 7時50分が僕の登校時間
- エピソード④ お母さん、ファイルからプリントはずしちゃダメ
- エピソード⑤ 先生がこんな問題だからだ！
- エピソード⑥ 「出席番号の〇番の人が僕に嫌なことを言った」
- エピソード⑦ 「近づくな。飛び降りてやる！」

- エピソード⑧ 37度こえたら学校は休みます
- エピソード⑨ 先生も修学旅行に一緒に行くの？
- エピソード⑩ 「先生、最近、薬飲んでないけど、イライラしなくなった」
- エピソード⑪ 文化祭

IV 中学校通常学級

- エピソード① 「うざい」「あっちいけ」「ちかよるな」
- エピソード② 部活動で自信をつける
- エピソード③ 「先生、Aくん、叫んでいるけど大丈夫なんか？」
- エピソード④ 職場体験「この会社くさいな」
- エピソード⑤ 担任には引き継がれても各教科の教員には伝わりにくい
- エピソード⑥ 友だちに励まされて「それが『走る』ということやぞ！」
- エピソード⑦ ぼくは悪くない、相手が突然、襲いかかってきた

V 中学校支援学級

- エピソード① 「学校、行くのやだ!!」
- エピソード② せんせい、俺、「イライラ」しなくてすんだ!!
- エピソード③ どうしても「話せない」
- エピソード④ 進路希望は高校進学です

エピソード⑤ 交歓スポーツ大会で優勝したい

VI 特別支援学校、小学部、中学部、高等部

小学部

エピソード① できないと思われていた高這いができた

エピソード② 教師生活も長いですが、あの瞬間はやっぱり
とってもうれしい

エピソード③ 伝えたい思いを膨らませ、相手への発信や
言葉を引き出すこと

中学部

エピソード① 小学校での経験を踏まえた内容を検討すること

エピソード② 学習の主体は生徒たちであること

エピソード③ 食べることも楽しいけれど、製作ものにも
良さがある

エピソード④ 自分のことで精いっぱいだった子がみんなの
ために

高等部

エピソード① 自分の力が発揮できる学校で三年間勉強したい
としました

エピソード② 高等部になったときに生徒会長になりたい理由

エピソード③ 何としてでも地域の方々との触れ合う機会を
大事にしたい

エピソード④ 周りへ情報発信する手段としての ICT 活用

エピソード⑤ 卒業後の姿が見られる場所